

校長室だより



令和8年7月1日

第2号

白井市立白井第一小学校
校長室

=ほめることが大切=

『温かいまなざしで見つめれば人の良さが見えてくる』『冷たいまなざしで見つめれば人の欠点が見えてくる』ということが言われます。そして『温かいまなざしで、ほめることは人を育て、つくること』とも言われます。子どもたちを『認め・ほめ・励ます』という三大原則で、子どもの良いところを探し続けていくことが大切だと思います。小さな優しさや親切・いい行い・ふとした発見を、まわりの親・地域・先生・友だちが『認め・ほめ・励ます』ことを繰り返すことによって、学校が・家庭が・地域がまるごと温かく、居場所のある場になると同時に、子どもたちの穏やかな成長につながるものと確信しています。

第一小の これからの学習の形

昨年度の「校長だより」では、白井第一小の新しい学習の形を紹介してきました。新入学児童の保護者に向け、もう一度概要をお伝えしたいと思います。

これからの社会は、学校で詰め込んだ知識だけでは成り立たない。つまり、学校は「どのように学ぶか」を身につけるところに変わってきています。

実際、普段の授業の様子を見てみると、指導方法は、かなり変化してきていると思います。知識を獲得するだけの授業から、友達と協力して課題を解決する「協働的な学び」を意識した学習へと変わってきています。

- 「分からない」ことがたくさんある社会で生きていくために、**「分からない」と、他者に伝えることができる**ようにする。＜第2号にて＞
- 課題が簡単だと「できて当たり前」「できない人は、恥ずかしい」と思われて「分からない」と言いにくくなってしまいます。そこで、**課題を難しくすることで、「ほとんどの人ができない」「分からないと言やすい」**状況を作り出す。＜第4号にて＞
- 教師は、教えすぎない。話しすぎない。教師の役割の中で**「聴く」「つなぐ」「もどす」**を重視する。＜第3号にて＞

- ・ **聴く** …子どものつぶやきを聴く。
- ・ **つなぐ** …つまづいている子を、解法を見つけた子に**つなげる**。
違った考えを持っている子同士を**つなげる**。
- ・ **もどす** …つまづいている時は、既習内容・教材・グループ（友達）に**もどす**。
グループで話し合ったことを、全体に**もどす**。

一小的きらり

5/15（金）に白井中学校区合同学習会「はじめましての会」が白井第一小学校で行われました。あおぞら・ひばり学級の皆さんは、進行や餃子の皮ピザの作り方など、パワーポイントも使いながら、上手に説明できました。



5月20日（水）の第三部会陸上競技大会（白井市・印西市 27校参加）では、冬からの練習の成果を発揮し、「いちっこ」の代表として立派に参加してきました。学校でも、児童みんなで応援しました。結果を報告すると、学校でも歓声があがっていました



5年生は、6月10日（水）～11日（木）に小見川自然教室に行ってきました。スローガンは、「思いやりと絆を深めて 最高の思い出を作ろう」であり、子どもたちはしおりを読み、自分たちで考えて行動をしていました。今は何をすべきか、次は何をする予定なのか、みんなで協力して取り組んでいました。

キャンプファイヤーでは、燃え上がる火にみんなの気分も最高の盛り上がりを見せました。男女仲良くダンスをしたり、レクで走り回ったり、汗びっしょりになっている子もいました。



貴重な体験です。がんばれ！



駆けつけた先生もいっしょにダンス！



準備より片付けの方が大変そうでした。

6/6（土）に市PTAバレーボール大会が行われました。白井中学校区3校の合同チームで出場し、鋭いサーブで相手チームを翻弄する試合展開でした。

